

日本酒で乾杯を推進する条例

最近のニュースで知りましたが、佐賀県議会は6月26日に、「**日本酒で乾杯を推進する条例案**」を全会一致で可決したそうです。

「県は、日本酒による乾杯とその普及促進に積極的に取り組むよう努める」とし、酒造会社や県民にも協力を求めています。罰則は決めていません(重要です。当然ながら・・・)。27日から施行されています。

このニュースを聞いたときには、驚きました。

なぜなら、この話、**愛知県津島市**の駅近くにある居酒屋さん“出逢い”のマスター(ママのご主人。魚屋さん)が以前にされていたからです。

「このごろ、だれも日本酒を飲まんようになってまったなあ。このままだったら、酒屋が潰れてまうに一。乾杯の時ぐらい、日本酒にせないかんわあ。」

今年の4月のことです。

私の日本酒の飲み方を褒めていただいた後で、この話になりました。

「あなたの飲み方は静かで、かっこええなあ。背中をピンと伸ばして、お猪口に注いだ徳利を静かに置く。きれいなもんだわ。」

この褒め言葉が非常にうれしかったので、覚えていました。

佐賀県は都道府県としては全国初でしたが、日本酒での乾杯を推進する条例を制定して消費量の増加を後押ししようという動きは、相次いでいるようです。

昔から酒造りが盛んな地域を中心に8市町でも。

日本酒の消費量は少子高齢化などの影響で年々減っていて、ピークだった昭和50年度と比べて3分の1程度にまで落ち込んでいることが、背景にあるそうです。

マスター恐るべし。